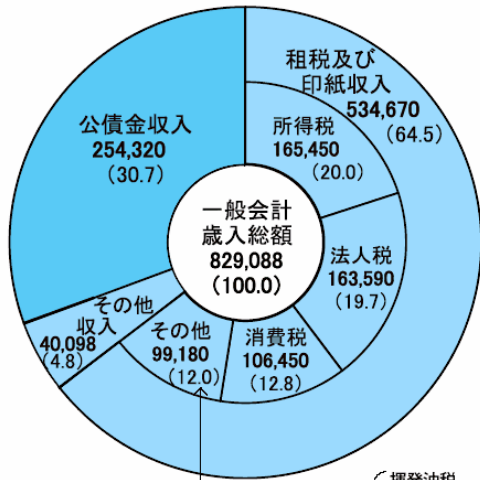




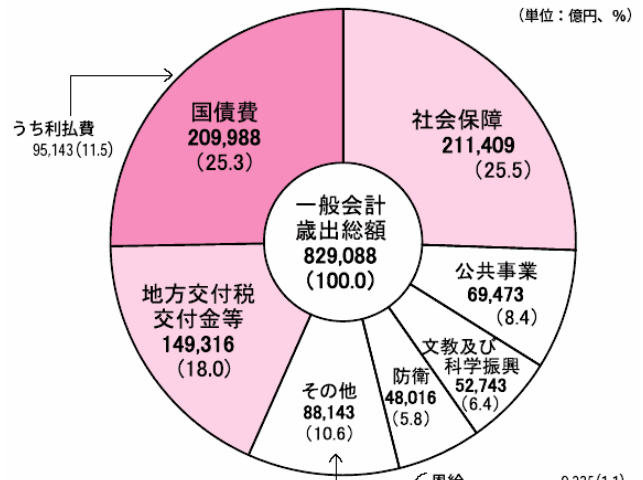
いつもお世話になっております。今月号の事務所だよりをお届けしますので、ご査収下さいませようお願い申し上げます。

## 会計は、難しいけど非常に大切なものですね

毎年、一般会計の歳入・歳出予算が新聞・テレビで報道されています。平成19年度の一般会計予算の歳入は83兆円でした。



(単位: 億円, %)



(単位: 億円, %)

揮発油税	21,350(2.6)
相続税	15,030(1.8)
酒税	14,950(1.8)
関税	9,290(1.1)
たばこ税	9,260(1.1)
自動車重量税	7,160(0.9)
石油石炭税	5,330(0.6)
その他税収	4,620(0.6)
印紙収入	12,190(1.5)

恩給	9,235(1.1)
エネルギー対策	8,647(1.0)
経済協力	6,913(0.8)
食料安定供給	6,074(0.7)
中小企業対策	1,625(0.2)
産業投資特別	
会計へ繰入	203(0.0)
その他の経費	51,946(6.3)
予備費	3,500(0.4)

日本全体の予算では単位も大きくわかりにくいので、年収が830万円の高給取りのサラリーマンAさんの世帯におきかえて、見てみました。Aさんの収入の65%は税金で30%毎年借金をしています。支出は25%が社会保障費・25%が借金の返済です。

収	入	
所得税 (私達が支払う税金)	165万円	
法人税 (企業が支払う税金)	164万円	
消費税 (私達が支払う税金)	106万円	
その他の税金	100万円	
<b>借入金の収入</b>	<b>255万円</b>	
雑収入	40万円	
合計	830万円	

支	出	サラリーマンの場合
社会保障費	212万円	医者や年金・介護
公共事業費	70万円	家の手直し
文化・教育費	53万円	学費・塾・娯楽費
防衛費その他の支出	136万円	衣食住・防犯対策
<b>借入金の返済</b>	<b>209万円</b>	
地方への分配	150万円	親や子供への仕送り
合計	830万円	

### 1、日本の借金は800兆円！

国と地方を合わせた長期債務(借金)は800兆円を超えられています。(国650兆円・地方150兆円)これは計算上、年収830万円のサラリーマンAさんが8,000万円の借金を抱えていることになります。さらに毎年借入金が255万円発生し、209万円返済したのであれば46万円づつ借金が増えてしまいます。こう考えると、日本はもう破綻していると思えません。

### 2、日本の借金はなくなるのでしょうか？

国民の金融資産は、1200~1400兆円とうわさされています。外国からお金を借りているわけではないので、800兆円の借金を国民の1400兆円の資産と相殺すればあつという間に国の借金は、なくなります。(恐ろしい話ですが...) この相殺の方法として、増税とインフレが手っ取り早いと政府が考えていると思うのは、わたしだけでしょうか？



(アニメ「クレヨンしんちゃん」で今年から消費税が**85%**になりましたと言っていました)

### 3、消費税の増税

もし消費税の税率を5%から50%に増やすとAさんの収入は、消費税分954万円増えます。所得税・法人税が減少したとしても収入は800万円以上増加し、倍額の1,600万円になります。

また、地方の固定資産税の総額は年間8兆円あります。これを10倍の80兆円に増税すれば富裕層や企業の不動産も固定資産税の支払いが不可能になり、消費を手控えても地方の借金は確実に減少します。

こうすれば10年以内で国の借金はなくなります。(国民はひどい目に遭い、多くの財産を没収されますが...)

### 4、特別会計について

平成19年度現在、国には29の特別会計があります。平成19年度当初予算においては、特別会計の歳出額は約362兆円となっていて、これは単純に各会計を足した総額であり、他の会計との重複を除いた純計額は約175兆円と言われています。(きちんと公表されていないので本当かどうか? わかったもんじゃありません)

国の特別会計は、事業特別会計、資金特別会計、区分経理特別会計の3種のみが認められています。

**E X ) 庶民の私にもわかるものに地震再保険特別会計 年金特別会計 労働保険特別会計 道路整備特別会計 登記特別会計 自動車検査登録特別会計 自動車損害賠償保障事業特別会計 等々があります。**

### 5、とんでもない特別会計の予算について

特別会計の予算は一般会計の倍額以上あると言われていますが、その実態はどうなっているんだか? 埋蔵金があるのかなのか? すべて公表されていないので、さっぱりわかりません。

サラリーマンAさんが支払う一般会計分の税金は、所得税30万円・消費税20万円ぐらいでしょうか...

特別会計にかかわるものは、年金60万円・保険10万円・高速代5万円・自動車関係10万円等々とやはりAさんの場合でも倍額以上はあるかもしれません。

この不明朗な、何に使われて、本当に必要なかわからないお金、175兆円を30%節約(天下りを含めた人件費だけでもかなりの額です)すれば、50兆円が借金の返済にまわせます。これは消費税の税率を25%にしたと同じぐらいの金額です。

### 6、臭い物(特別会計)にふたをする

この特別会計の実態の解明と公開、これを行わなければ国の借金は減るところか増え続けるでしょう。

さらに「未来の子供達に借金を残さない」・「老人・弱者に生活の保障を」・「充実した医療制度・教育を」等のもっともらしい理由のこじつけ発想による増税・増税また増税の馬鹿げた国会審議はなくなりません。

「必要な予算を必要なところへ」、「企業で考えれば無駄の無い将来に向けた必要な投資を必要な場所へ」といった前向きな、話し合いができると思いますが...(あーい、でしょうか?)

### 7、「増税無き財政再建」は可能か?

学生時代に研究したテーマです、税理士になって多くの税金とかかわりあってきましたが正直言ってよくわからなくなってきました。(昔はわかっていたつもりでしたが...)

日本の財政はまだまだ豊かです、破綻なんかしてません、と私は思います。

何年前に「塩じい」こと、当時の塩川財務大臣が、「母屋では節約、節約といってお粥をすすっているのに、離れでは、すき焼きを毎晩食べているような会計が、日本の一般会計・特別会計ですよ」と言っていた覚えがあります。

いずれにせよ消費税の増税には疑問があり、一年でも先送りしたいものですね...